

令和6年度 第1回周南市地域創発事業委員会 会議録

1. 日時 令和7年3月21日(金) 18時00分～21時00分
2. 場所 [第1部][第3部] シビック交流センター2階交流室2
[第2部] シビック交流センター2階交流室1
3. 出席者 徳山小学校区コミュニティ推進協議会（以下、徳小）
岐山地区コミュニティ推進協議会（以下、岐山）
大河内地区コミュニティ推進協議会（以下、大河内）
住みよい菊川をつくる会（以下、菊川）
（計18名）

周南市地域創発事業委員会
河田 正樹 委員長
船崎 美智子 委員
京井 和子 委員
竹尾 真実 委員
上野 貴史 委員
4. 事務局 地域振興部 福田
地域づくり推進課 神杉、柴田、福田
5. 傍聴者 0名
6. 会議内容
【第1部】（非公開） 18:00～18:25 （交流室2）
 1. 事業審査会の実施方法について
 2. 対象事業の概要説明【第2部】（公開） 18:30～20:15 （交流室1）
事業審査会
【第3部】（非公開） 20:20～21:00 （交流室2）
評価等の取りまとめ

【第2部】発言者・発言内容

発言者	発言内容
事務局	<p>只今より令和6年度第1回周南市地域創発事業委員会を開催する。 それでは、早速「事業審査会」に移る。 注意事項として、各団体の発表時間が残り3分になったら、通知する。また、終了時間になったら、ベルを鳴すので、発表の途中であっても、まとめに入ってください。 では、はじめに「徳山小学校区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いします。</p>
徳小	(プレゼン資料により発表)
事務局	<p>質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いします。</p>
委員	<p>「学ぼうっちゃ」の史跡巡りで岐陽中学校の生徒にガイド役を担当してもらったとあるが、授業に関係なく、ボランティアで参加したということか。</p>
徳小	<p>授業に関係なく、ボランティアとして参加していただいた。</p>
委員	<p>中学校には、総合的な学習の時間があるため、この時間を使って、授業として地域活動に取り組んでもらうことで、より持続的な取組みにつながるのではないかと思う。</p>
委員	<p>カレンダーの制作に際して、寄付金をもらったとあるが、収支決算書に記載されていない理由は。</p>
徳小	<p>寄付金については、コミュニティ本体の会計に計上しているため、夢プランの収支決算書には記載していない。</p>
委員	<p>全部でどれくらいの寄付が集まったのか。</p>
徳小	<p>全部で1口1,000円×105件(105,000円)のご寄付をいただき、お礼として完成したカレンダーを渡した。</p>
委員	<p>ずっと寄付を募るのも難しいと思うため、今後上手く事業化が図られることに期待する。</p>
委員	<p>岐陽中学校の生徒は何年生が応募してくれたのか。</p>
徳小	<p>2年生の女の子が1人、1年生の男の子が2人、1年生の女の子が2人、計5人。</p>
委員	<p>学年を越えて、一緒に活動することは素晴らしいと思う。皆さんが上手く連携できるようにされたのが、応募が多かった理由だと思う。 また、自分たちだけで地域の歴史を調べるのではなく、地域で歴史に詳しい方にヒアリングを行い、自分が学び、それを咀嚼して伝えれば、さらに効果があったと思う。</p>
徳小	<p>学習面で改善の余地があると考えており、専門家の方のお話を中学生が聞く時間を設け、深く学べる時間を作ってあげたら良かったと思っている。 どうしても夢プランのメンバーだけでは、深いところまでたどり着けないため、そういったことも来年度やっていきたいという話も夢プランの会議の中で出ている。</p>

委員	<p>ラジオ体操カードの提出が全体の約 7%に留まったとあるが、今後どのように周知していくのが気になった。</p> <p>また、史跡巡りにおいて、中学生ガイド役を設けることは素晴らしいことだと思う。</p> <p>さらに、来年度は中学生と小学生と一緒に活動できるようになるとより良い取組みになると思う。小学 6 年生は中学校に上がるのにとっても不安な気持ちがあると思うが、こうした取組みをとおして中学校と関わることができれば、中学校がより想像しやすくなると思う。</p> <p>また、部活動の地域移行が進められているが、スポーツだけでなく、こういった歴史なども部活動として進められたら面白いと感じた。</p>
委員	<p>今年度は、自宅でのラジオ体操を実施されたが、外に集まって実施する方法など今後他の方法での実施も検討されているのか。</p>
徳小	<p>今後の実施方法については、正直悩んでいるが、親子で一緒にできる時間があつたら良いとは思っている。</p>
委員	<p>前年度の反省点を踏まえて、今年度の取組みが改善されている点が素晴らしいと思う。</p> <p>また、小学生、中学生、大学生と連携し、一緒に取り組んでいる点も良いと思う。</p> <p>事業実績書に来年度は史跡ガイドボランティアの方も学習会に参加できる体制を作るとあるが、この学習会に中学生のガイド役も参加するという認識で良いか。</p>
徳小	<p>ご認識のとおり、専門的な知識を中学生が学べる場を来年度は作っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>ますます説明も詳しくなって良いと思う。</p>
事務局	<p>以上で「徳山小学校区コミュニティ推進協議会」の発表を終了とさせていただきます。</p> <p>続いて、「岐山地区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いします。</p>
岐山	<p>(プレゼン資料により発表)</p>
事務局	<p>質疑応答に移る。</p> <p>委員から、質問等をお願いします。</p>
委員	<p>昨年度作成したマップを使い、今年度はハイキングを行うなど着実に取組みが積みあがっているように感じた。</p> <p>また、収支予算書に横断幕作成費を計上されているが、この横断幕は来年度実施を予定している、ごみゼロロードやあいさつロードの取組みのために作成するのか。</p>
岐山	<p>岐山地区では、夢プランを始めるにあたって住民アンケートを実施し、その結果、マップづくり、ごみゼロロード、あいさつロードが取組みの候補となった。小学校で夢プランについて説明する時や熟議の時にも、子どもたちから「ごみを拾って、地域をきれいにしたい」「地域との交流はあいさつから」といった意見があがっていたため、来年度はあいさつロードの区域を示す横断幕が作成できればと思い、予算計上した。</p>
委員	<p>ドローン体験会やひなまつり企画はもともと地区の行事としてあつたのか。</p>
岐山	<p>ひなまつり企画に関しては、今回初めての行事で、家に眠っているひな人形を持ってきてもらい飾ることで、子どもたちに見てほしかった。</p> <p>ドローンに関しては、小学校が 3 機、市民センターが 2 機、自治会連合会が 4 機、岐山</p>

	ドローンクラブが 2 機所有しており、岐山地区ではドローンが充実している。小学校のプログラミングの授業で、子どもたちがタブレットを使いドローンを飛ばし、放課後子ども教室でも年 3 回ドローン体験を行い、現在は他地区からも複数のオファーがある状態。
委員	ドローン体験は他地区にも波及しており、とても良い取り組みだと感じた。 ひなまつり企画もあるものを使って、実施している点が良いと思った。
委員	今後、ホームページを充実させていくということであれば、県のプロボノなど社会資源を上手く使うことで、時間短縮につながるかもしれない。 また、ドローン体験会は今後どのような展開を考えているのか。
岐山	今年度のドローン体験会は、夢プラン実行委員が運営のお手伝いで参加したが、来年度は夢プランとしての企画にするかまた検討していきたい。
委員	史跡巡りの参加者が 60 人いたということだが、参加者の年代はどのくらいの方か。
岐山	5 歳から 80 歳まで幅広くご参加いただいた。
委員	この取り組みは、子どもたちが地元へ愛着を持つ良いきっかけになると思う。
委員	ドローンにカメラが付いているのであれば、ラジオ体操や史跡巡りの際に、撮影したら面白いのではないか。
岐山	ドローンの規制があり、それは難しい。
委員	新規委員の募集をしないといけないというお話があったが、魅力的な企画に来られた方に委員になってもらえるような仕組みを作っていけば良いと思う。
委員	マップにふりがなをつけて読みやすくすれば、より良くなると思う。
委員	来年度で補助期間終了となるため、自主財源の確保についても検討していただきたい。
事務局	以上で「岐山地区コミュニティ推進協議会」の発表を終了とさせていただく。 続いて、「大河内地区コミュニティ推進協議会」より、発表をお願いします。
大河内	(プレゼン資料により発表)
事務局	質疑応答に移る。 委員から、質問等をお願いします。
委員	昨年度の発表で、課題として担い手の確保をあげられていたが、その辺はどうなったか。
大河内	「り」のチームとしては、花壇の整備の際に、中学生や高校生にボランティアを募る予定。 「す」のチームとしては、メンマづくりに取り組んでおり、竹害の解消などの課題解決やメンマが売れてお金の循環が生まれるといったことを若い子どもたちが学べる場になれば良いと思う。
委員	メンマはいつ頃できる予定か。

大河内	昨年メンマを初めて作った際に、最初の1ヶ月は美味しかったが、2ヶ月から3ヶ月経つと、竹のしゃきしゃきという食感が損なわれた。その課題の解決方法が自分たちだけではわからないため、ながとろボへ行って、アドバイスをいただいている。令和7年度は、4月末に竹をとり、塩漬けし、1ヶ月くらい寝かせ、7月頃にながとろボへ持ち込み、商品化することを考えている。
委員	今後気になる点として、アドバイザーの派遣を希望されていたが、(公財)山口きらめき財団から色々なアドバイザーの無料派遣が可能のため、問い合わせしてみると良いと思う。
委員	花壇の糞被害には、竹酢液を使うと良いかもしれない。 また、備品購入費の107,000円は、何に使ったのか。
大河内	花壇の整備に必要な草刈り機2台の購入に使った。
委員	食推の活用や官学連携が行われており、社会資源をちゃんと把握されている点が素晴らしいと思う。 また、テーマの中に“くすり”という言葉を使っており、これが地域のビタミン剤のような感じがしてとても良いと思った。 子ども食堂は地域の方々が運営しているのか。
大河内	夢プランのメンバーや地域の方が中心となって運営している。今年度は、宇部フロンティア大学の学生等にメニューの考案などをお願いすることもあった。
委員	今後、子ども食堂に子どもたちも参加させて、食べるだけでなく配膳を手伝うなどすることで、自分たちも地域で何かできるのではないかと考えるきっかけになり、将来的な担い手の確保につながるのではないかと思う。
委員	パンフレットにワンコインで草刈り応援と書かれているが、取組状況はどうか。
大河内	パンフレットに記載しており、将来的には実施したいが、今はまだ着手できていない。
委員	この取組みは、自主財源の確保や見守り活動につながるため、実施できれば良いと思う。
委員	子ども食堂で宇部フロンティア大学との連携に至った経緯は。
大河内	大河内市民センターの主事が宇部フロンティア大学とつながりがあり、話を持っていったと聞いている。
委員	今後も宇部フロンティア大学との連携は続けていくのか。
大河内	今後も大学との連携は続けていく予定。
委員	地域の困りごとの解決に着目して取り組んでおられる点が非常に特徴的だと思う。 また、竹害の解消のために、竹を伐採するだけでなく、メンマや竹炭にするなどアイデアが面白いと思った。 活動するにあたって、色々なところに視察に行き、意欲的に取り組んでおられる点も素晴

	<p>らしいと思う。</p> <p>令和 7 年度の予算書に消耗品費 100,000 円と記載されているが、これには肥料なども含まれているのか。</p>
大河内	肥料なども含め、100,000 円と記載している。
事務局	<p>以上で「大河内地区コミュニティ推進協議会」の発表を終了とさせていただく。</p> <p>続いて、「住みよい菊川をつくる会」より、発表をお願いします。</p>
菊川	(プレゼン資料により発表)
事務局	<p>質疑応答に移る。</p> <p>委員から、質問等をお願いします。</p>
委員	<p>中学生の主体的な参加・参画を促している点が非常に素晴らしいと思う。</p> <p>また、この活動を通じて、関わった方が成長している点も地域の力になっていくと思う。</p> <p>これから 2 年間自主財源の確保に向けて集中的に取り組むということで、非常に期待している。</p>
委員	<p>各グループの方が責任を持って取り組まれているのが、伝わってきた。</p> <p>資料の中で困っている点として、グループ同士の横のつながりの希薄さと書かれているが、今後どのようにしていく予定か。</p>
菊川	それは、上手くいっていない時期に書いた文章で、フリーマーケットでは全てのグループから応援できる人が参加して、みんなでやって良かったという風になっており、今はちょっと解消されている。
委員	これだけリーダーがたくさんいると良いものができると思った。お茶の事業も楽しみにしている。
委員	夢プランのパンフレットがすごく素敵にまとまっているが、どなたが作られたのか。
菊川	地域の出身者でイラストレーターがいたので、お願いして描いてもらった。
委員	<p>地域の色々な人材を引き出している点がすごいと思う。</p> <p>また、10 代向けのプランにコミュニティ・スクールが入っている点も良いと思った。</p> <p>今後、地域力を上げて、地域で稼いでいくことは必要なことだと思うため、お茶づくりに期待したい。さらに、作ったお茶をふらっとカフェでたしなむなど今後の展開にも期待したい。</p> <p>夢プランにおいて、今が種まきの時期だとおっしゃっていたが、これをぜひ次世代につないでほしい。</p>
委員	SNS の発信の頻度はどれくらいか。
菊川	<p>担当者が 1 人でやっており、イベントがある時は、事前告知などを行っている。</p> <p>また、X を使って、色々な人とコラボしながら、つながりを作るようにしており、頻繁に色々なグループの情報を発信している。</p>
委員	<p>SNS で発信することで、印刷の経費を削減している点が良いと思う。</p> <p>また、誰かが発信した情報を共有することで、より広がりが出ると思った。</p>

	ふらっとカフェの企画では、本を借りに来た人がお茶を飲んで帰れるという内容が素晴らしいと思った。ぜひ、そういった場所が他のエリアでも見られるようになればより良いと思った。
菊川	ふらっとカフェは、久米地区社協が既に行っていたため、見に行っ参考にした。
委員	各地区の夢プランの取組みを地域づくり推進課がつなぎ共有することで、色々な方がノウハウを知ることができたら良いと思う。
委員	花火大会は、ハタチのつどいをやめて実施を続ける予定か。
菊川	ハタチのつどいが始まった時は、ちょうどコロナが大変な時期で、人が集まるのが難しい状況だった。今は、社会が通常に戻ったため、企画するなら何か仕掛けを考えるか、20代から40代グループの企画のため、振り切ってシジュウのつどいにするなど、色々な議論をしている最中。
委員	周南市の二十歳の記念式典の時に、菊川中学校の同窓会は開催されないのか。
菊川	今は、中学校の生徒会長と副会長をやった子が事務局になって、周南市の記念式典の後に開催している。
委員	そちらと被ってしまうため、ハタチのつどいに来なかったのでは。
菊川	つどいのなかった時期に20代から40代グループが何か残してあげたいという思いから、ハタチのつどいを企画してくれたが、だんだん緩んできて、そこで集めなくてもみんなが会えるようになってきた時だった。
委員	今回で補助期間終了だが、これから選択と集中が大事になってくると思うので、良いものは残していただいて、逆に思い切ってやめてしまうものがあったら良いと思う。今後もぜひ活動を続けていただきたい。
事務局	<p>以上で「住みよい菊川をつくる会」の発表を終了とさせていただきます。</p> <p>本日の評価結果及び補助事業採択の可否については、委員からの助言を添えて、後日通知する。</p> <p>令和6年度第1回周南市地域創発事業委員会を終了とする。</p>